



るるキチ

あにっ…っ  
出っ…っ  
ちゅっ…っ  
えっ…っ

まは  
の  
？  
！  
まは  
の  
？  
！  
まは  
の  
？  
！  
まは  
の  
？  
！

1



「おにい…こえ、出ちゃう…っ」  
～塩ギャルほど  
ベッドの上ではよく喘ぐ!?

第 1 話



今日はソレって  
さっさと寝るが

あー  
つかれた



おつかれ  
したあ



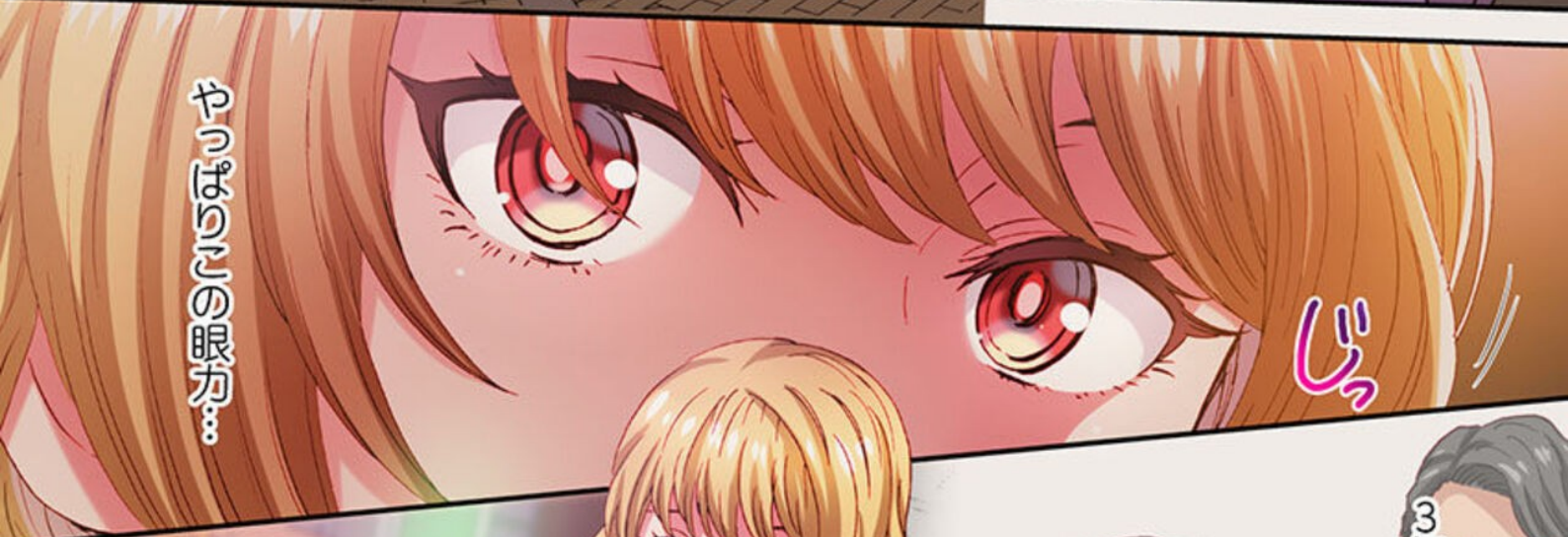
!



ってあれ…？

おー  
好みのギャル発見！







正直よくわからんやつ  
なんだよな

こんな時間に  
何してるの

お義父さん  
心配してるんじゃないか...



口利くのも  
嫌なほど  
嫌われてるの  
俺?

何...?



部屋...?

ああ...

泊めて?



駅までは  
送るからさ



やだよ

家帰りだよ





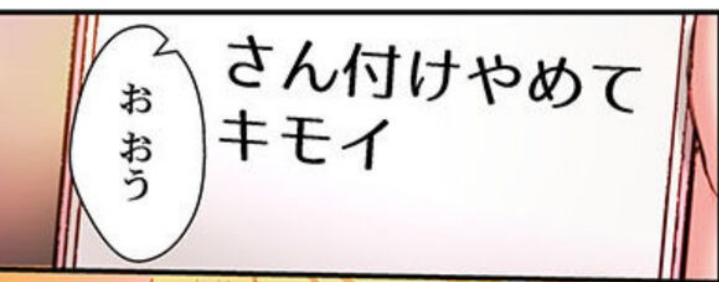
ん？



わかったよ…

泊めてやる

ついてきなよ  
ゆい子さん



おおお

さん付けやめて  
キモイ



じゃあ

ゆい子

フクッ



あんっ

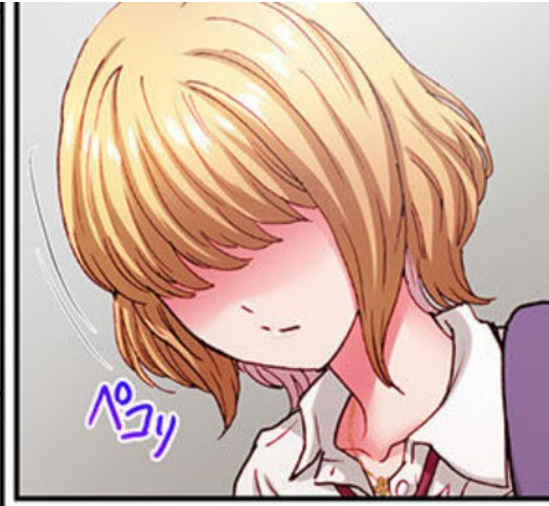
おおっ



この205が  
俺の部屋だよ







そういえば...

家にいたときも  
こんなだったか！

小声で何言ってるか  
わかんないし

筆談とかお義父さん経由で  
なんか言ってくることは  
あったけどー

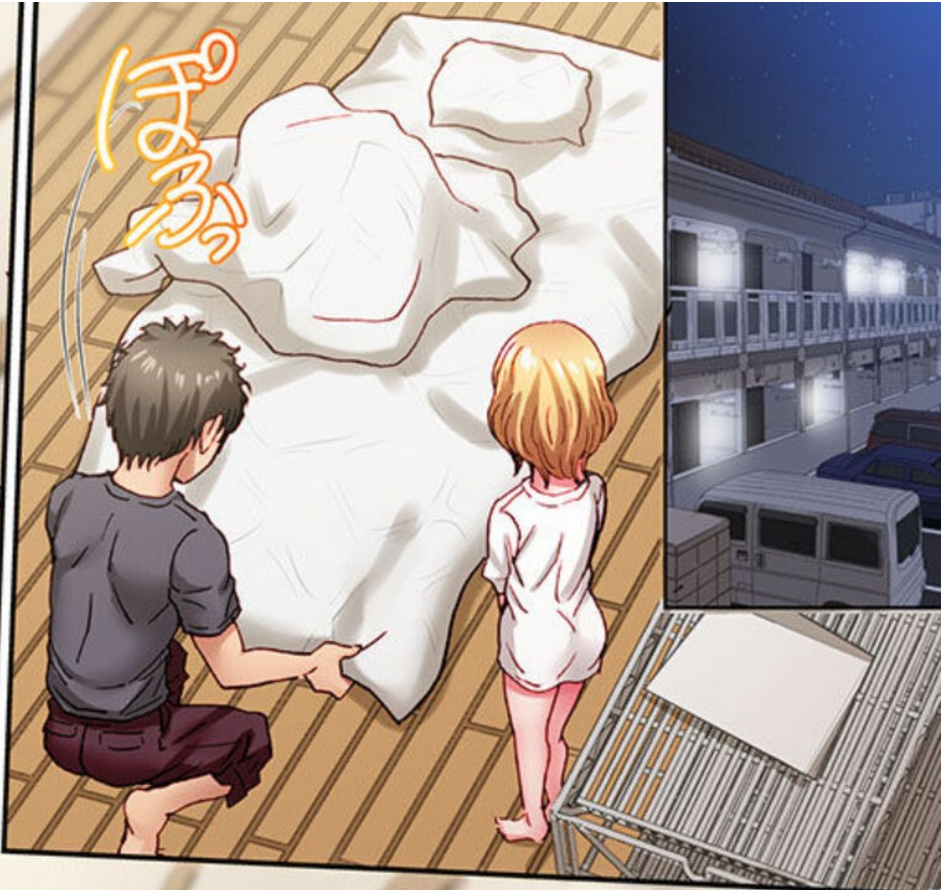
そもそもアイツと  
まともに喋ったこと  
あったっけ？



あれ...?  
俺アイツの声...  
妹なのに聞いたことない...!?

ぶん

きゅん







こんな状態じゃ  
シコれないじゃないか



もう寝ついたのか

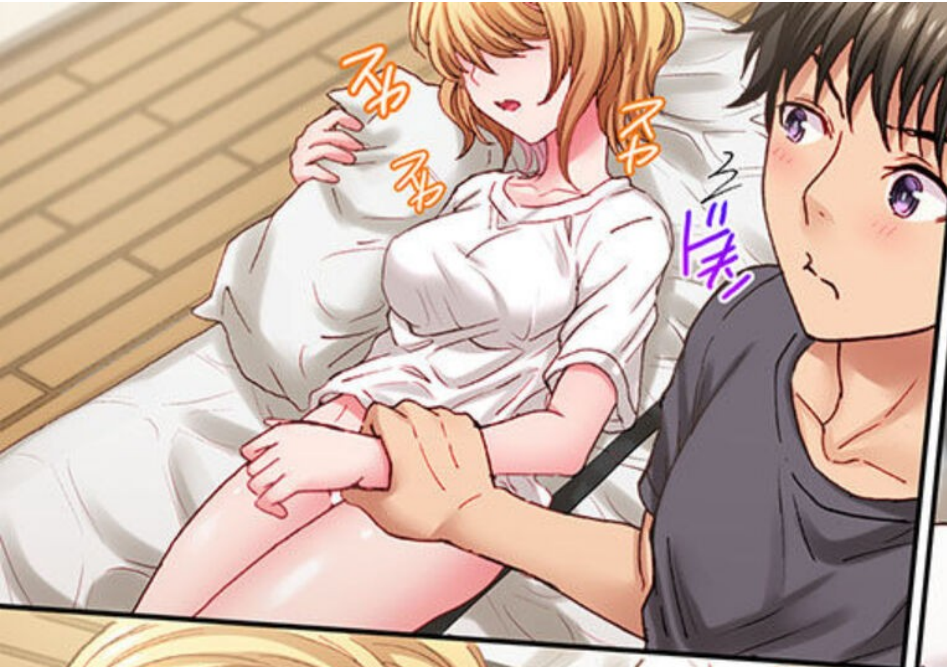
義理の兄とはいえ  
男の部屋で  
緊張感ないな

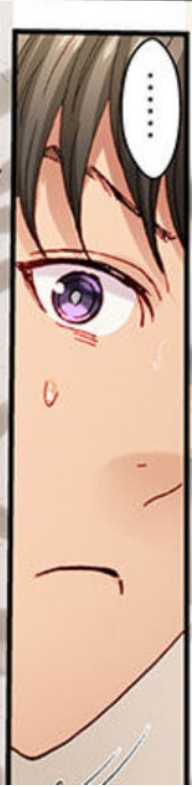


寝相も悪いし



おふっ

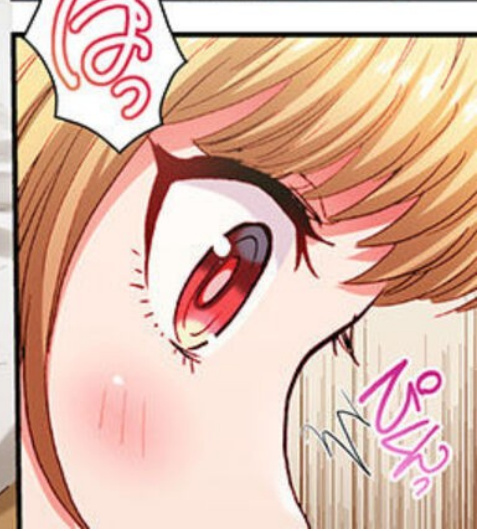


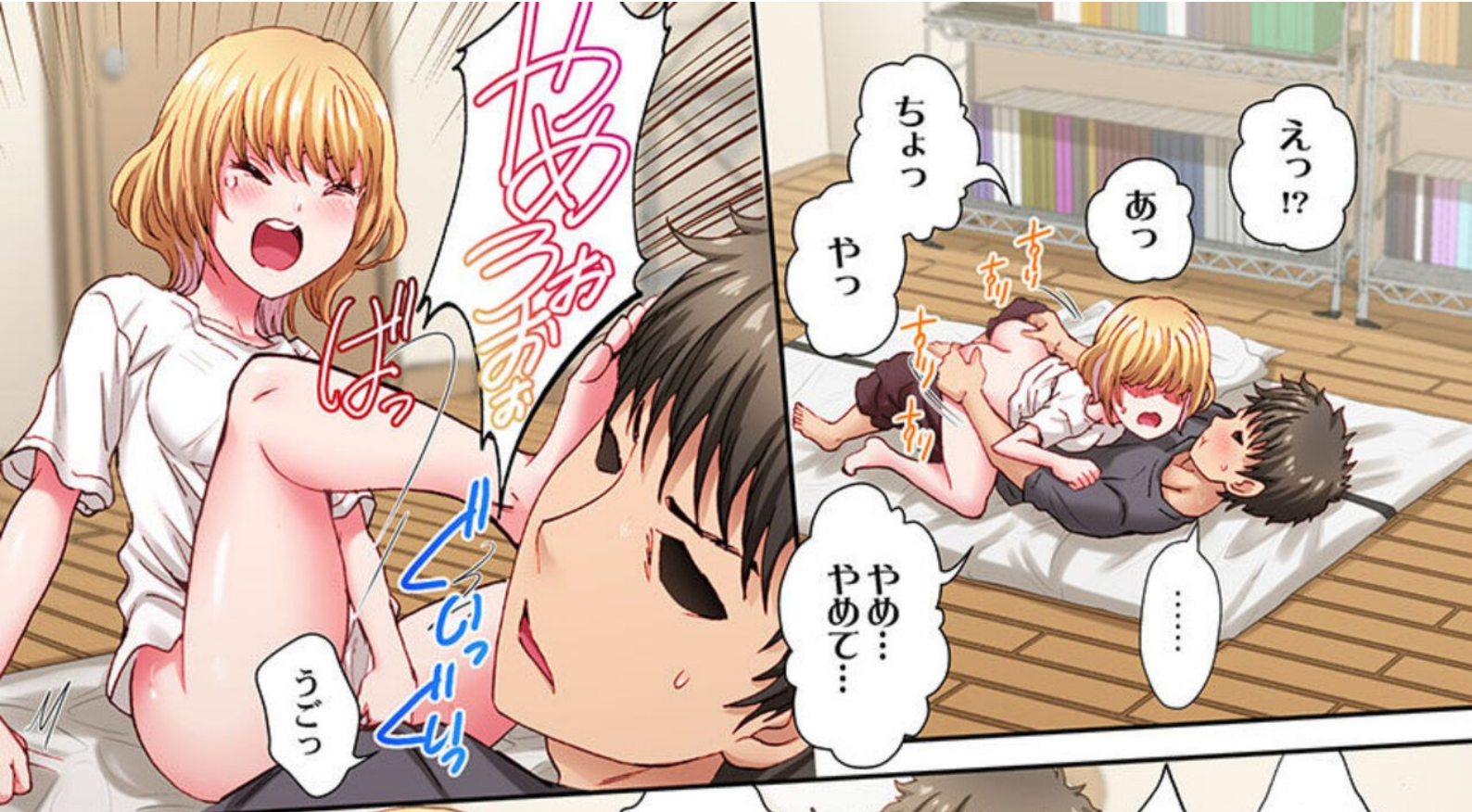




妙にクセになる...







あめ  
うお  
お

ほっ

どっ  
どっ

ううう

えっ!?

あつ

ちよっ

やっ

すす  
あ  
すす  
すす

やめ…  
やめて…

…



ええ!?

う

寝相の悪い  
お前も悪い!

うがっ

えっ

ちよっ…  
待て待て

境界線越えてきたのは  
ゆい子のほうだからな



ついつ

—っ

う

は

お前がむちやくちや  
カワイイ声で  
反応するから

ついだ

あ  
う  
う

それにさ



ずっとこの声  
からかわれてたから

……

アニメ声だの  
ヘリウムだの  
言われて……



……

おかしな声って  
思ってるんでしょ



まさか……

これまでまともに  
話してくれなかったのは  
そのせい？

だって

ヘンに思われ  
たくないし

声聞かれたく  
なかったの



ふあん

もっとその声  
聞かせてくれよ

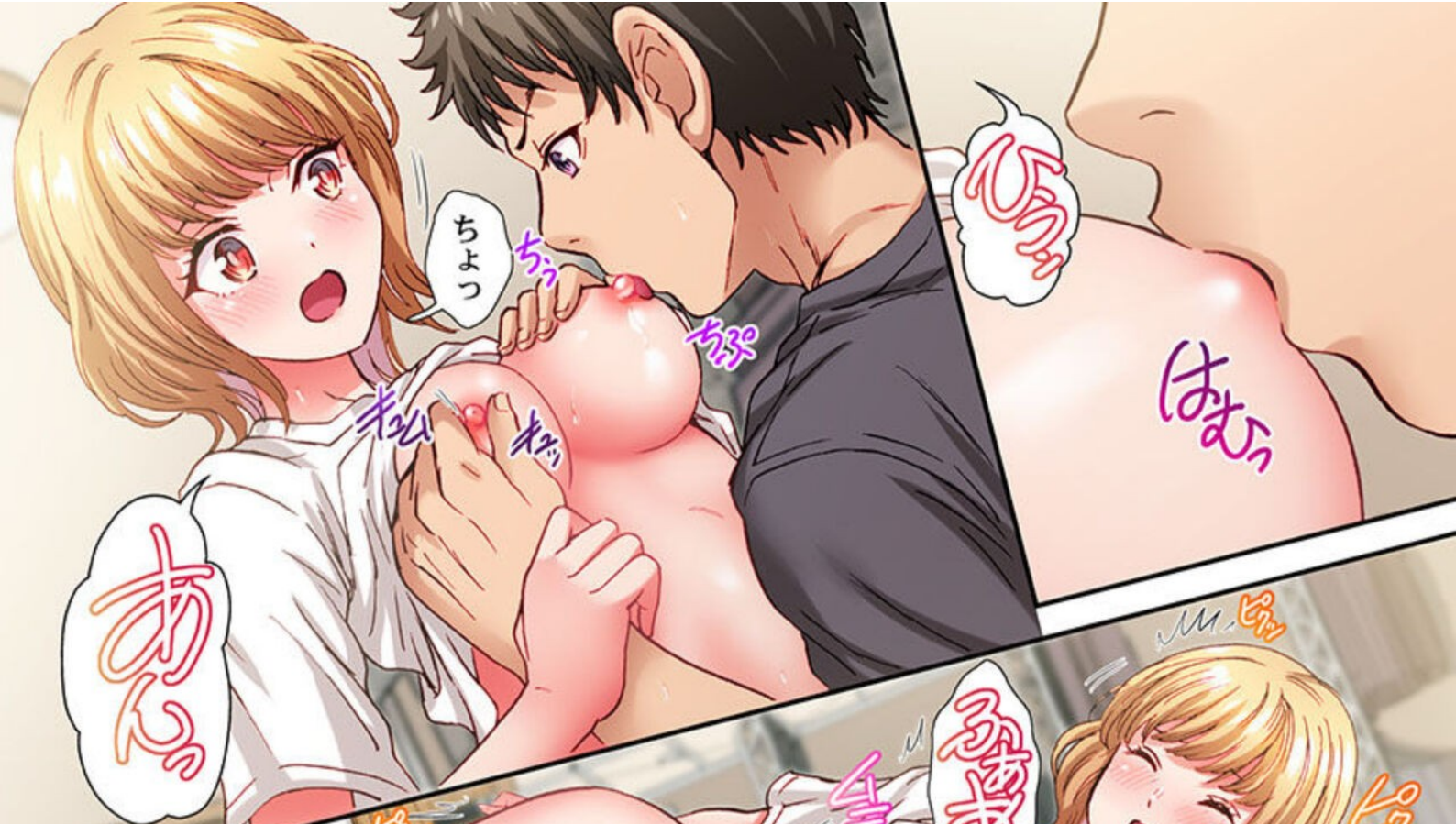
あつ



そうか？

すっごい  
カワイイ声だぞ











たまんねえ!

あひん

あひん



カワイイ声があふれまくってる

やだ...

聞かないで...



もっと聞かせろ

ん

あひん

あひん

ちゅ



ずっと無口だった義妹が

こんな甘い声で激しく喘いで...

あひん

あひん

あひん

ちゅ



いいよな...

境界線を  
越えてきたのは  
お前なんだから

「おにい…こえ、出ちゃう…っ」  
～塩ギャルほど  
ベッドの上ではよく喘ぐ!?(1)

著者 るるキチ

発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、  
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。